



ごあいさつ

理事長 新居 栄治

平素より、私ども「四国ろうきん」に対しまして格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

「ろうきん」は、働く仲間がお互いに助け合うためにつくった協同組織の福祉金融機関です。常に働く仲間寄り添いながら時代の変化とともに多様なニーズに応えることができましたのは、ひとえに会員各位をはじめ関係各位のご理解とご支援の賜物であり、心から感謝を申し上げます。

さて、地域経済ではコロナ禍から回復基調にあったものの、米国の関税による輸出入企業の不安定化、エネルギー価格の高騰や物価高の影響により今後の経済情勢の不透明感は一層高まるばかりです。また、昨年より「金利のある世界」に転換して以降、金融機関を取り巻く環境は大きく変化しております。そのような急速な変化の時代だからこそ、福祉金融機関として大きな真価を発揮し、お客さまの夢とご家族の幸せな暮らしの実現に貢献していきます。

昨年度の収支面では、経常利益は9億12百万円（計画比+1億93百万円）、当期純利益6億55百万円（計画比+1億26百万円）と計画を達成することができました。なお、自己資本比率は11.29%となりました。

2025年度は「第9期中期経営計画」の2年目という大事な年度となります。10年後のあるべき姿として実行の柱となる「人材」を最大の強みとして事業の根幹に据え、人材の可能性を最大限に引き出し、持続的企業価値の創造を目的とする「人的資本経営」を継続して取り組むことにより、未来永劫、お客さまに信頼され、支持され、選択され続ける福祉金融機関として、その存在意義を発揮してまいります。

このディスクロージャー誌は「四国ろうきん」の機能や役割、そして2024年度の業況を取りまとめたものです。本誌によって、私どもに対するご理解を一層深めて頂ければ幸いに存じます。

2025年7月